

ヤマカガシ（毒蛇）にご注意ください！

- ・危険ですので近づかないで下さい。
- ・刺激することなく、その場から離れて下さい。

ヤマカガシとは

- 分 布：日本固有種
本州、四国、九州、佐渡島、隠岐島、奄岐島、五島列島、屋久島、種子島に分布します。
- 全 長：60 - 120 センチメートル
- 体 色：場所によって色彩には変異があります。シマヘビやアオダイショウと比べると、色彩が鮮やかで赤色、黄色や黒色の斑紋があるのが特徴です。近畿地方から中国地方には青色の個体もいます。
- 生 態：平地から山地にかけて広く分布し、特に川、池の周り、水田地帯、湿地に多く生息し、カエルなどを食べています。危険が迫ると稀にコブラのように頭を持ち上げ、頸部を平たくし、頸の上部にある毒腺を目立たせます。通常はおとなしいのですが、中には攻撃的な個体もいるため、注意が必要です。
- 毒 性：日本のヘビの中でも最も強い毒をもつのがヤマカガシです。毒は頸部の背面と毒牙から分泌されますが、毒牙は上顎の奥の方にしかないため頻りに噛まれるわけではありません。首の背面の毒腺からは黄色の毒液が分泌され、それが皮膚につくと炎症を起こすことがあります。



〈撮影：見澤康充〉

注意点・かまれた場合の対処法

- まずは医療機関に連絡し、受診するようにしてください。
- 噛まれてしまった現場で可能な処置は、噛まれた場所よりも心臓に近い方を軽く縛り、毒素を吸引してください。
- その場に水があれば血を絞り出しながら洗浄してください。



〈撮影：金森さりい〉